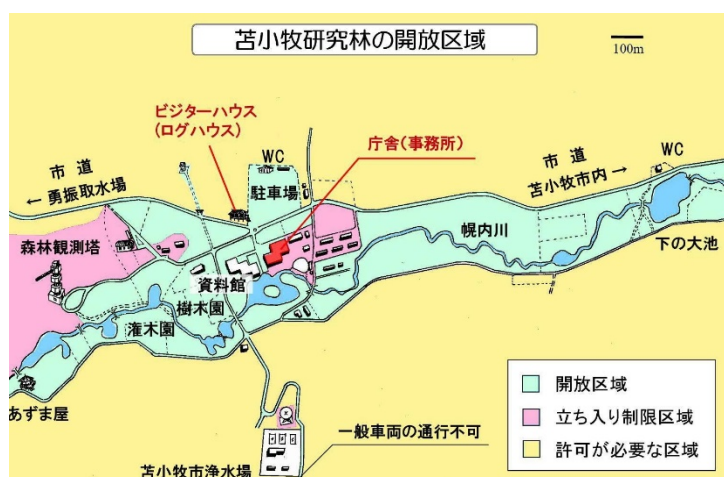


## 北大苫小牧演習林（苫小牧市）

竹内 強

まだ鳥見を始めて、2年ちょっとという初心者の私がこんな題で文章を書くこと自体がとても恥かしいことなのですが、初心者には初心者にはしかわからない良さを持つ所がある、という思い込みにより、ずうずうしくもこの文章を書かせてもらいました。

初心者の初心者らしいところを考えてみると、その第一は分りやすい鳥でなくてはならないということ。その第二は誰でも見えるような所にいてくれないと困るということ。（その上、不精な私はあまり歩きたくない）そして、第三には、出来ればめったに見れない鳥が見たいということだと思います。



こんな難しい条件を満してくれるのが冬の北大苫小牧演習林です。（もちろん、ここは、春夏秋でも十分楽しめます。）

入口前の駐車場に車をおいて、入口から奥の樹冠観察塔まで歩けば十分に楽しめます。（距離にして 800m くらい、これは不精者の私のためにあるようなコースです。）

北大苫小牧演習林（北大苫小牧研究林 HP より）

飯台が林内のここそこにあり、それ集まるキツツキやカラ類、カケス等を待つて観察すればよいのです。人間がそばに寄っていても、あまり警戒せず、私のような初心者でもその違いが分るほどじっくり観察出来ます。また、札幌より南にあるためか、越冬する種類が多いようです。（アオジ、カワラヒワ等）

キツツキ類、カラ類は行くと必ず見ることが出来る鳥ですが、ここの目玉は何と言ってもクマガラです。ここくらいクマガラを見る確率の高い所は他にないと思います。

ここにはクマゲラだけを目当てに来る人も少なくないようです。(一昨年行ったときは、「12時頃と2時頃クマゲラが餌台に来ますよ。」と親切におしえてくれました。昨年はクマゲラの警戒心も薄れたのか、もっと度々、姿を見せてくれました。)

500mm だの 300mmx2 だのという高いレンズを付けた高いカメラを持った人達が沢山いるときもあります。

見慣れてくると餌台につくクマゲラでは物足りない感じがしてきます(なんと贅沢な話)が、ここでじっくり声や姿、しぐさ等を観察しておく、他の場所でも見つけやすくなると思います。(実際に、私は岩見沢の利根別休養林で2回、野幌森林公園で3回出会ってます。)

特に「キョーン、キョーン」という鳴き声は一度聞いたら間違えることがないと思います。飛んでいるときも独特の声を出しながらやってくるので覚えやすいと思います。また、ここは渡りや移動する鳥の経路として休息・採餌の場となっているようであり、ミヤマホオジロ(近年毎年飛来しています。)、オオマシコ(昭和61)、オジロビタキ(昭和60)等珍しい鳥に出会うこともあります。

初心者の皆さん、是非一度探鳥してみてください。